

第35回 電気工事業全国大会(東北・福島大会)が開催

主催 全日本電気工事業工業組合連合会
 主管 東北七県電気工事組合連合会
 企画・運営 福島県電気工事工業組合



**進化し続ける組合へ
大会決議を採択**

全日本電気工事業工業組合連合会の第35回全国大会が10月25・26日に福島市のJRA福島競馬場とふくしん夢の音楽堂(福島市音楽堂)で開催された。北は北海道から南は九州・沖縄の電気工事業者約1,600人が一堂に会し「持続可能な社会」をつくる強く頼もしい電気工事業への挑戦！」をメインテーマに掲げ、組合活性化研修会や大会式典を行った。

研修会では、各県の工組や青年部がそれぞれ実施している事業のうち、他県の工組が幅広く学べることを選考基準とす

る7事業を選定し、それぞれ活動事例を発表した。この事業について、情報を共有し、活発な意見交換を行った。全国の工組にとって今後の組合運営の参考となる貴重な機会となった。

式典では、全日電工連会長表彰を行い組合役員功労者を表彰したほか、優良事業工組表彰で金賞を受賞した京都電工組による「京都電気安全サービス京都調査センターの業務改善」の事例発表などを行うとともに、技術者育成や多様な働き方の実現などにより、持続可能な社会に貢献し、進化し続ける組合を目指す内容の大会決議を採択した。

第35回電気工事業全国大会 大会決議

- 高度技術者育成を図り、安全・安心の提供により信頼される街の電気ドクターを目指す
- デジタル技術を活用した多様な働き方の実現により次代の担い手が働きたいと思える業界づくりを目指す
- 持続可能な社会に貢献するために進化し続ける組合を目指し、先端技術や成功事例の情報提供に努め、スピード感を持って各種事業を具現化する

以上関係行政ならびに諸団体、関係企業の一層のご指導ご支援をお願い申し上げます。われわれ、組合員は広く社会の付託に応え時代の変化を先取りし実行する組織と結束を目指すことをここに決議する。

2023(令和5)年 10月26日

東北七県電気工事組合連合会

理事長 平野 喜嗣
外 組合員一同

仙台市若林区東七番丁157-1
TEL.022(355)9120 FAX.022(355)9122

福島県電気工事工業組合

理事長 浅川 誠吾
外 組合員一同

福島市御山字稲荷田31-2
TEL.024(535)0477 FAX.024(533)0833

青森県電気工事業工業組合

理事長 山子 則男
外 組合員一同

青森市本町二丁目9-17
TEL.017(773)1935 FAX.017(773)5540

宮城県電気工事工業組合

理事長 前澤 博
外 組合員一同

仙台市若林区東七番丁157-1
TEL.022(221)2676 FAX.022(267)0425

秋田県電気工事工業組合

理事長 千葉 三四郎
外 組合員一同

秋田市泉南一丁目1-18
TEL.018(824)1587 FAX.018(824)1534

山形県電気工事工業組合

理事長 會津 圭一郎
外 組合員一同

山形市あこや町一丁目5-8
TEL.023(633)0161 FAX.023(633)0645

岩手県電気工事業工業組合

理事長 平野 喜嗣
外 組合員一同

盛岡市下太田榊48-44
TEL.019(656)3255 FAX.019(658)1636

新潟県電気工事工業組合

理事長 吉田 徳治
外 組合員一同

新潟市中央区上大川前通六番町1203
TEL.025(229)4101 FAX.025(223)7321

テンパール工業株式会社

取締役社長 水津 卓也

広島市南区大州三丁目1-42
TEL.082(282)1341 FAX.082(282)8680

株式会社シーエスエー

代表取締役社長 和田 正志

島根県出雲市上塩治町153-1
TEL.0853(22)4114 FAX.0853(22)4127

大会御礼



全日本電気工事業工業組合連合会 会長 米沢 寛

このたびの第35回電気工事業全国大会(東北・福島大会)には、各界・各位のご臨席をいただき、全国の加盟員多数の参加を得て、無事終了することができました。厚く御礼申し上げます。

昭和58年を第1回大会として、電気工事業界の抱える課題・今後の業界の在り方を参加加盟員と討議し、地域社会に業界への理解を深めていただくために開催しております。現在、わが業界では、人材確保育成、現場でのデジタル技術の活用、働き方改革への対応など、新しい経営の基盤を固めていかなければなりません。本大会では、進化する組合員支援策や電気工事組合が

進むべき道筋を考え、着実に歩みを進める強い組織づくりの場といたしたところです。

また、折から「GX脱炭素電源法」の成立などにより、エネルギーの安定供給とカーボンニュートラル実現の両立、既存の原子力発電の活用などが推し進められます。われわれは原発再稼働について提言をしていくためにも、本大会の開催を通じて福島第一原子力発電所の廃炉作業の状況をみて知見を深める機会となったことは、大きな意義がありました。

電気工事業には、電気を安全・安心に提供していくという「自負」と社会インフラを担っている「誇り」があります。不断に応えていく姿勢を持ち、組合員が幸せになる魅力ある業界づくりを目指し鋭意取り組んでまいります。

今後ともより一層のご支援、ご協力をたまたまりますようお願い申し上げます。



東北七県電気工事組合連合会 理事長 平野 喜嗣

このたび、全日本電気工事業工業組合連合会の全国大会が「JRA福島競馬場&福島市音楽堂」で全国各地より1600人を超える組合員ならびに青年部、そしてご多忙中ご臨席をたまたまります関係行政機関・関係団体・東北電力(株)・東北電力ネットワーク(株)をはじめとする関係企業のご来賓をお迎え10月25日から26日の2日にわたって開催されました。東北地区での開催は、平成21年の第26回新潟大会に続

き4回目となりますが、全国でも初めて競馬場を会場とした開催となりました。

東北七県は、新潟を含めた7つの県がそれぞれの県の独自性を持たせながら、協力体制と融和を持たせながら諸課題の達成に向け一致協力した事業運営を行っております。

近年、地球温暖化問題や福島第一原子力発電所の処理水海洋放出が話題となっておりますが、それらの諸問題においても今大会を通じて電気工事に従事する組合員の一致団結した取り組みにより問題解決に微力ながら取り組んでまいりたいと考えております。



福島県電気工事工業組合 理事長 浅川 誠吾

第35回電気工事業全国大会福島大会を福島市において開催いたしました。西村康稔経済産業大臣をはじめ多くのご来賓をお迎えし、全国から1600人を超える組合員および関係各位が集い開催できましたことに開催県を代表して感謝いたします。今回はJRA福島競馬場とふくしん夢の音楽堂(福島市

音楽堂)の2つの会場を使用した、かつてない開催方法といたしました。また、東北ならではの・福島ならではの・競馬場ならではの、といった内容を盛り込みました。ご参加いただいた皆さまの心に残る大会でありましたら幸いです。

東日本大震災と福島第一原子力発電所事故から12年余が経過した今の福島県の復興状況もご覧いただけたと思います。

電気工事業界の未来に向け、今大会のメインテーマ、サブテーマをもとに、新たな『はっしん』となることを願っております。